



PRESS RELEASE



火の鳥／精確さによる目眩くスリル<新制作>／エチュード<新制作> 珠玉のバレエ、豪華三本立て！

新国立劇場バレエ団は 2025 年 3 月に、20 世紀の珠玉の作品を三本立てで楽しめる公演を上演します。「コフレ」とは「宝石箱」を意味するフランス語。様々な魅力を放つ 3 作品が感性を刺激する、特別なプログラムをお届けします。

上演するのは、華麗なテクニックとバランスを思わせる幾何学的な美しさが魅力のランダー『エチュード』とシャープな動きが特徴のフォーサイスの人気作品『精確さによる目眩くスリル』、そして 2013 年以来的上演となるバレエ・リュスの代表作『火の鳥』です。『エチュード』と『精確さによる目眩くスリル』は新制作で、待望のレパートリー入りを果たします。

選りすぐりの作品をお届けするトリプル・ビルでは、物語の世界に浸る全幕バレエとは一味違うバレエの楽しみがあります。各作品にはプリンシパルを筆頭とする精鋭のダンサーたちが次々と登場し、古典バレエとは違った輝きを放ちます。それぞれに優れた音楽、美術、振付からなる短いバレエが厳選されたプログラムで、多彩な刺激と楽しみ、そして満足感を得ることができるトリプル・ビルです。



資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ

新国立劇場 制作部舞踊 広報担当 清水千奈美

Tel : 03-5352-5735 / Fax : 03-5352-5737 / e-mail : shimizu_c4725@nntt.jac.go.jp

作品解説



バレエ・リュスの傑作が12年ぶりに再演！

『火の鳥』

1909年にパリで鮮烈なデビューを果たし、一世を風靡したバレエ・リュスの初期の作品。バレエ・リュスはロシアのエキゾティシズムとして人気を集め、やがてピカソやマティス、コクトー、ローランサン、シャネルら、当時パリで活躍していた前衛の若手アーティストを取り込み、新しいスタイルの「総合芸術」として、バレエだけでなく美術やファッション、音楽の世界にも革新をもたらし、大きな影響を与えました。『火の鳥』ではロシアの民族色濃い物語とストラヴィンスキーの音楽に、フォーキンもロシアの民族舞踊の要素をふんだんに取り入れて振り付けています。気高く孤高の火の鳥、魔王カステイの手下たちのダイナミックな踊りなど、短い作品ながら緊張感あふれる踊りをお楽しみください。

鬼才フォーサイスによるクラシック・バレエへのオマージュ

『精確さによる目眩くスリル』

時代の先端をいく作品を創作してきたフォーサイスによる、クラシックバレエへのオマージュが込められたプロットレス・バレエ。1996年にフランクフルトで初演されて以来、パリ・オペラ座バレエなど多くのバレエ団によって上演されてきました。クラシックバレエの型とテクニックが用いられつつもオフバランスと多重心が多用され、ダンサーたちは身体の強靭さと限界までの柔軟さが求められます。シャープなテクニックと、キレのある鋭い踊りをお楽しみください。



Photo by Mitsunori Shitara

基本の動きから超絶技巧まで、バレエのレッスンを作品に

『エチュード』

デンマークの振付家ハラルド・ランダーによる、クラシックバレエのレッスンをオマージュしてつくられた作品で、1948年にデンマーク王立バレエで初演されました。バレエダンサーの練習は、ウォームアップから始まり、小さな動きから徐々に身体を大きく動かすように行われていきます。本作はそれと同様にバーを使った踊りから広がりのある動きへと展開し、最後はスリリングな回転とジャンプで幕を閉じます。ダンサーたちが日々訓練を行っているシンプルな動きが、いかにして芸術になりうるのかに焦点が当てられた、ランダーの代表作です。



© Yonathan KELLERMAN / OnP
Courtesy of The Paris Opera Ballet



Guillaume Diop, Valentine Colasante, Paul Marque in *Etudes*,
by Harald Lander

スタッフプロフィール

【『火の鳥』振付】 ミハイル・フォーキン Mikhail FOKIN



1880年、サンクトペテルブルグ生まれ。帝室バレエ学校に学び、卒業後はマリインスキー劇場バレエのソリストとして活躍。ロシアを訪れたイサドラ・ダンカンの踊りに大きな衝撃を受け、振付表現の統一された、心理的な意味づけのある「新しいバレエ」を提唱した。『シェヘラザード』『薔薇の精』『レ・シルフィード』『ペトルーシュカ』などバレエ・リュスの初期の作品のほとんどを振付けた。1918年以降はロシアを出てフリーの振付家として活動し、各国に招かれてバレエ・リュスのレパートリーを広めた。42年ニューヨークにて死去。

【『精確さによる目眩くスリル』振付】 ウィリアム・フォーサイス William FORSYTHE



Photo by Dominik Mentzos

ニューヨークで育ち、フロリダでノーラン・ディングマンとクリスタ・ロングに師事。ジョフリー・バレエ、後にシュトゥットガルト・バレエで踊り、1976年に常任振付家に任命される。84年からはフランクフルト・バレエの芸術監督を20年間務める。フランクフルト・バレエの解散後、新たにザ・フォーサイス・カンパニーを設立し、2005年から2015年まで指揮を執った。この間に創作された作品はフォーサイス・カンパニーのみで上演されているが、それ以前の作品は世界の主要なバレエ団のレパートリーとして取り上げられている。最近では、パリ・オペラ座バレエ、イングリッシュ・ナショナル・バレエ、ボストン・バレエのためにオリジナル作品を創作し、サドラーズ・ウェルズ劇場が制作した『A Quiet Evening of Dance』は国際的に高い評価を得ている。現在、南カリフォルニア大学グローリア・カウフマン・スクール・オブ・ダンスの振付研究所の教授、芸術顧問。

【『エチュード』振付】 ハラルド・ランダー Harald LANDER



1905年コペンハーゲン生まれ。13年からデンマーク王立バレエ学校で学ぶ。23年にデンマーク・ロイヤルバレエに入団し、オーギュスト・ブルノンヴィル『デンマークから遠く離れて』でソリストとしてデビューした。27年にデンマークを離れ、ニューヨークでミハイル・フォーキンに師事。29年デンマーク・ロイヤルバレエに再び入団し45年まで主役を踊った。31年から51年までデンマーク・ロイヤルバレエの芸術監督に就任し、『ボレロ』『七つの大罪』『エチュード』など30以上のバレエ作品を創作した。52年から63年までパリ・オペラ座バレエのバレエ・マスターおよびパリ・オペラ座バレエ学校校長に就任。ミラノ・スカラ座、アメリカン・バレエ・シアター、ロンドン・フェスティバル・バレエ、リオデジャネイロ市立劇場、オランダ国立バレエ、ハンブルク州立歌劇場、ウィーン国立歌劇場、ミュンヘン国立歌劇場、フィンランド国立バレエ、パリ・オペラ座バレエなどに作品を振り付けた。『ナポリ』『ラ・シルフィード』『コンセルヴァトワール』『ジェンツァーノの花祭り』などのブルノンヴィルのレパートリーや、『ペトルーシュカ』『薔薇の精』などフォーキンのバレエの多くを上演し大切に守った。71年に母国デンマークで逝去。

【指揮】 マーティン・イエーツ Martin YATES



20年余りにわたり多彩なジャンルで活躍してきた英国人指揮者。ピアノ、作曲、指揮を学んだ後、イスラエル・ナショナル・オペラで指揮者としてデビュー。以降、英国内のロンドン交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、バーミンガム市立交響楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー、ハレ管弦楽団などのオーケストラに客演し、ヨーロッパ各地の管弦楽団に招かれている。スウェーデン室内管弦楽団ではマーク＝アンソニー・タネジの『A Prayer Out of Stillness』の世界初演を指揮。また一流の伴奏者としても評価が高く、ホセ・カレーラス、バーバラ・ヘンドリックス、プリン・ターフェル、モンセラート・カバリエ、ロベルト・アラニーヤ、アンジェラ・ゲオルギュー、ヨーヨー・マら世界的に有名な芸術家と共演している。またミュージカル指揮者としても知られており、ウェスト・エンドのミュージカルのヒット作の音楽監督を多数務めている。バレエは音楽活動の中心的位置を占めており、英国ロイヤルバレエとは、2004年2月にストラヴィンスキー作曲『アゴン』でデビューして以来、これまでに『マノン』『ロメオとジュリエット』『うたかたの恋』『七つの大罪』『白鳥の湖』を指揮したほか、同団のツアー公演に同行している。ノルウェー国立バレエ団、フィンランド国立バレエ団にもたびたび客演し、成功を収める。新国立劇場では、『マノン』『シンデレラ』『ロメオとジュリエット』『ドン・キホーテ』を指揮している。

配役・プロフィール

『火の鳥』

	3月14日(金) 19:00	3月15日(土) 14:00	3月15日(土) 18:30	3月16日(日) 14:00
火の鳥	小野絢子	池田理沙子	小野絢子	池田理沙子
イワン王子	奥村康祐	渡邊拓朗	奥村康祐	渡邊拓朗

『エチュード』

	3月14日(金) 19:00	3月15日(土) 14:00	3月15日(土) 18:30	3月16日(日) 14:00
	木村優里	柴山紗帆	木村優里	柴山紗帆
	井澤 駿	李 明賢	井澤 駿	李 明賢
	福岡雄大	山田悠貴	福岡雄大	山田悠貴

『火の鳥』 火の鳥



小野絢子 ONO Ayako <プリンシパル> (14日, 15日 18:30)

東京都出身。小林紀子バレエアカデミー、新国立劇場バレエ研修所を経て、2007年に新国立劇場バレエ団に入団。08年D.ビントレー『アラジン』の主役に抜擢され、その後もほぼ全ての作品で主役を踊る。11年プリンシパルに昇格。13年『アラジン』、14年『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。11年芸術選奨文部科学大臣新人賞および舞踊批評家協会新人賞、14年服部智恵子賞、16年橘秋子賞優秀賞、19年芸術選奨文部科学大臣賞。



池田理沙子 IKEDA Risako <ファースト・ソリスト> (15日 14:00, 16日)

東京都出身。バレエスタジオDUOで学ぶ。2009年ユース・アメリカ・グランプリ女性シニアの部銅メダルほかコンクール受賞歴多数。Kバレエカンパニーを経て、16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し19年ファースト・ソリストに昇格。『眠れる森の美女』『くるみ割り人形』やF.アシュトン『シンデレラ』、R.プティ『コッペリア』、D.ビントレー『アラジン』、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』などの主役のほか、平山素子『Butterfly』『春の祭典』を踊っている。

『火の鳥』 イワン王子



奥村康祐 OKUMURA Kosuke <プリンシパル> (14日, 15日 18:30)

大阪府出身。母・地主薫に師事し、09年モスクワ国際バレエコンクールで銀賞受賞。翌年文化庁芸術祭新人賞を受賞。12年新国立劇場バレエ団に入団し、16年よりプリンシパル。『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『ドン・キホーテ』『ライモンダ』などといった古典作品やD.ビントレー『アラジン』、R.プティ『コッペリア』、M.フォーキン『ペトルーシュカ』主役のほか、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのルイス・キャロルなどを踊っている。10年文化庁芸術祭新人賞、14年舞踊批評家協会新人賞、16年中川鋭之助賞、22年芸術選奨文部科学大臣賞。



渡邊拓朗 WATANABE Takuro <ファースト・アーティスト> (15日 14:00, 16日)

福島県出身。バレエスタジオ PLANE で学び、新国立劇場バレエ研修所へ 2015 年に入所。17 年より新国立劇場バレエ団に入団する。『くるみ割り人形』ねずみの王様、『ドン・キホーテ』ボレロ、『眠れる森の美女』狼、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』三人の庭師、F.アシュトン『夏の夜の夢』ディミートリアス、D.ビントレー『アラジン』ルビー、平山素子『Butterly』などを踊る。2023/2024 シーズンよりファースト・アーティスト。

『エチュード』



木村優里 KIMURA Yuri <プリンシパル> (14日, 15日 18:30)

千葉県出身。泉バレエ塾、橘バレエ学校で学ぶ。新国立劇場バレエ研修所を経て、2015 年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。15 年『くるみ割り人形』金平糖の精役で主演デビューを果たす。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『ジゼル』などの古典作品や F.アシュトン『シンデレラ』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』、R.プティ『コッペリア』の主演のほか、『ラ・バヤデール』ガムザッティ、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』ハートの女王などを踊っている。22 年プリンシパルに昇格。17 年舞踊批評家協会新人賞、20 年中川鋭之助賞を受賞。



井澤 駿 IZAWA Shun <プリンシパル> (14日, 15日 18:30)

群馬県出身。関田和代、菅居理枝子、田中洋子に師事し、2014 年新国立劇場バレエ団に入団。同年 F.アシュトン『シンデレラ』で主演デビューを果たし、17 年プリンシパルに昇格。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』などの古典や R.プティ『こうもり』、P.ダレル『ホフマン物語』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』の主演、D.ビントレー『アラジン』ランプの精ジーンなどを踊っている。18 年中川鋭之助賞、20 年舞踊批評家協会新人賞、22 年芸術選奨文部科学大臣新人賞。



福岡雄大 FUKUOKA Yudai <プリンシパル> (14日, 15日 18:30)

大阪府出身。ケイ・バレエスタジオ、チューリッヒ・バレエ団を経て 2009 年新国立劇場バレエ団に入団。劇場デビューとなる『ドン・キホーテ』で主演し、以降ほとんどの作品で主演を踊る。12 年よりプリンシパル。D.ビントレー『アラジン』、『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。17, 19 年中村恩恵『ベートーヴェン・ソナタ』でも高い評価を得る。11 年中川鋭之助賞、13 年舞踊批評家協会新人賞、18 年芸術選奨文部科学大臣新人賞、23 年芸術選奨文部科学大臣賞受賞。



柴山紗帆 SHIBAYAMA Saho <プリンシパル> (15日 14:00, 16日)

東京都出身。バレエスタジオ DUO、ハリッド・コンサーヴァトリー、ピッツバーグ・バレエシアター・スクールで学ぶ。2014 年に新国立劇場バレエ団に入団。15 年に牧阿佐美『くるみ割り人形』金平糖の精で主演デビューを果たし、『白鳥の湖』『ラ・バヤデール』『ドン・キホーテ』『ライモンダ』『ジゼル』『眠れる森の美女』、F.アシュトン『シンデレラ』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』の主演、 balan sin『テーマとヴァリエーション』『シンフォニー・イン・C』第一楽章などを踊っている。21 年ファースト・ソリスト、23 年プリンシパルに昇格。



李明賢 LEE Myeonghyun <ファースト・アーティスト> (15日 14:00, 16日)

韓国出身。2017年コリア国際バレエコンクール プレジュニア部門で金賞受賞。カナダ国立バレエ学校に留学後、20年韓国国立バレエに入団。22年ソウル国際バレエコンクール第1位を受賞。23年パリ・オペラ座バレエ短期契約、ユニバーサル・バレエを経て、24年新国立劇場バレエ団にファースト・アーティストとして入団。しなやかな身体能力と美しいラインで魅せる期待のダンサー。



山田悠貴 YAMADA Yuki <ファースト・アーティスト> (15日 14:00, 16日)

埼玉県出身。ドリームバレエスタジオで学んだ後ワガノワ・バレエ・アカデミーに留学。NBA バレエ団、新国立劇場バレエ団登録ダンサーを経て 2021/2022 シーズンより契約アーティスト。『ジゼル』ペザント パ・ド・ドゥ、『くるみ割り人形』ロシアの踊り、『眠れる森の美女』青い鳥、親指トム、F.アシュトン『夏の夜の夢』パック、P.ダレル『ホフマン物語』ホフマンの友人、N.ドゥアト『ドゥエンデ』などを踊っている。2023/2024 シーズンよりファースト・アーティストに昇格。

公演概要

2024/2025 シーズン

新国立劇場バレエ団「バレエ・コフレ」

火の鳥／精確さによる目眩くスリル<新制作>／エチュード<新制作>

Ballet Coffret

The Firebird / The Vertiginous Thrill of Exactitude / Etudes

芸術監督 吉田 都

『火の鳥』

振付 ミハイル・フォーキン
音楽 イーゴリ・ストラヴィンスキー
美術 ディック・バード
衣裳 ナターリヤ・ゴンチャロワ
照明 沢田祐二

『精確さによる目眩くスリル』

振付 ウィリアム・フォーサイス
音楽 フランツ・シューベルト
美術・照明 ウィリアム・フォーサイス
衣裳 ステファン・ギャロウェイ

『エチュード』

振付 ハラルド・ランダー
音楽 カール・チェルニー／クヌド・ゲ・リーサゲル編曲
ステージング ジョニー・エリアセン
アーティスティック・アドバイザー リズ・ランダー
照明 ハラルド・ランダー

出演 新国立劇場バレエ団

指揮 マーティン・イエーツ

管弦楽 東京交響楽団

【公演日程】

2025年3月14日（金）19:00

2025年3月15日（土）14:00 **託児**

2025年3月15日（土）18:30

2025年3月16日（日）14:00

*開場は開演45分前です。開演後のご入場は制限させていただきます。

託児 託児室<キッズルーム「ドレミ」>がご利用になれます。

【会場】新国立劇場 オペラパレス（京王新線 新宿駅より1駅、初台駅中央口直結）

【予定上演時間】約2時間30分（休憩含む）

【ウェブサイト】<https://www.nntt.jac.go.jp/ballet/triplebill/>

【チケット料金（税込）】

席種	S席	A席	B席	C席	D席	Z席*
料金（税込）	12,100円	9,900円	7,700円	5,500円	4,400円	1,650円

*Z席は舞台のほとんどが見えないお席です。予めご了承ください。

※Z席は公演当日朝 10:00 から、新国立劇場 Web ボックスオフィスおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。1人1枚です。

※上記の方法での先着販売後、残席がある場合は開演 2 時間前からボックスオフィス窓口でも販売いたします。

※電話での予約は承れません。

【前売り開始日】

一般発売日：2024 年 11 月 16 日（土）10:00～好評発売中

【チケットのお求め・お問い合わせ】

<ウェブでの予約・購入（座席選択可）>

新国立劇場 Web ボックスオフィス <https://pia.jp/nntt/>

チケットぴあ <https://pia.jp/t/>

イープラス <https://eplus.jp/> 【Pコード：525-774】

ローソンチケット <https://l-tike.com/> 【Lコード：33570】

<電話での予約・購入>

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999（10:00～18:00）

【割引等のご案内】

お申し込みの際に、割引をご利用の旨お知らせください。（D・Z席は対象外）

高齢者割引（65歳以上）・学生割引：**5%割引**

ボックスオフィス（窓口・電話）、Web ボックスオフィスで取扱。

ご入場時にご年齢が記載されている証明書・学生証を確認させていただく場合がございます。

ジュニア割引（中学生以下）：**20%割引**

ボックスオフィス（窓口・電話）、Web ボックスオフィス、各プレイガイドで取扱。

ご入場時にご年齢が記載されている証明書を確認させていただく場合がございます。

当日学生割引：**50%割引**

公演当日に残席がある場合のみボックスオフィス（窓口・電話）で取扱。要学生証。

障がい者割引：**20%割引**

ボックスオフィス（窓口・電話）のみ取扱。要障害者手帳等。

車椅子席はボックスオフィス（窓口・電話）にてお求めください。

U25 優待チケット：**正価の半額以下** ※バレエ/ダンス/演劇公演の場合

その他、25歳以下のふだん劇場に足を運ぶ機会の少ない世代の方々に舞台芸術により親しんでいただくため、新国立劇場ではお得な優待チケットのサービスをご用意しております。

詳細はこちら：<https://www.nntt.jac.go.jp/ticket/youth-members/>